

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	5吉永 浩	離島生活コスト低減策の必要性について	離島における割高な生活コストを低減し、離島でも住みやすい、定住に繋がる町づくりが必要であるとする。以下2点質問する。 ①食品や生活用品等において、沖縄県と比較して久米島町の物価はどうなっているか。 ②平均所得の低い久米島町において生活を圧迫する割高な物価を軽減するため、輸送経費補助を行い、物流コストの低減を行うことが島の発展に繋がると考えるが。	町長	久米島における生活必需品の小売価格は、沖縄県による平成27年度調査によると、沖縄本島を100とした物価指数から18.4%高くなっております。 今後において、現状の物流コスト低減に係る輸送費補助については、物量が多大であり事業費も嵩むことが予測されます。町の厳しい財政状況を考えますと現時点では難しいと考えております。	商工観光課
2		ファミリーサポートセンターの必要性について	子育てを地域で相互援助する仕組みとして早急なファミリーサポートセンターの立ち上げが必要と考える。以下の3点質問する ①ファミリーサポートセンターの実施主体を認識しているか。 ②移住定住促進、働きたいを応援する、久米島町に無くてはならないサービスと考えるがどう考えるか。 ③社協に委託し、平成30年度中の立ち上げを目指す考えはないか。	町長	①実施主体と認識しているかについては、数年前に実施について、調整した経緯がありますが、実現に至らなかったとのこと。必要性としては、町内において育児の支援を受けたい方と、支援を行う方が会員となり、助け合う組織があることで、子育て又は就業の両立を支援できるものと考えています。 ②ファミリーサポートセンターが設置されることで、就業・移住定住促進に大きく寄与するものと考えています。 ③現在、ファミリーサポートセンターの実現に向けて有志により会員の募集を行ったところ、設置できる会員数が確保できる見通しがあることから平成30年度予算に計上することで調整を行っております。	福祉課
3		介護人材の育成、確保策の必要性について	今後、久米島町において介護人材の確保が大きな課題になる。そこで、以下の3点質問する。 ①島内介護事業所における課題を把握しているか。 ②介護人材の不足が町に及ぼす影響をどのように考えているか。 ③久米島町として今後、介護人材の育成・確保についてどのように対策していく考えか。	町長	①島内介護事業所における課題の把握については調査等は行っておりませんが、介護人材不足があると認識しています。 ②介護人材不足が町に及ぼす影響については、各事業所において新たな事業展開を行おうとしても人材不足により行えないことがあると考えています。 ③町の地域包括支援センターにおいても、介護支援専門員（ケアマネ）・社会福祉士等が配置できず、ハローワーク・沖縄県社会福祉協議会の人材バンク等に求人を行っていますが、応募がない状況であることから介護人材の確保は大きな課題と考えております。	福祉課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	5 吉永 浩	女性と高齢者のための人材活用センター設立の進捗状況について	<p>人口に限られた島において、移住定住を促進することは勿論、今いる人材をどう活躍させるかが重要である。そこで、2点質問する。</p> <p>①女性と高齢者のための人材活用センター設立の進捗状況は。</p> <p>②計画では、平成30年には法人設立等、予算も人も伴うことになっている。準備はできているか。</p>	町長	<p>①昨年度、女性と高齢者のための人材活用センター創立に係る基礎調査業務を実施しました。人材活用センターの必要性や需要、期待される効果などを確認することができた一方で、様々な課題も浮き彫りになりました。本町が目指す、人材活用センターは高齢者のみならず、女性や障害を持った方々も生き活きと活躍できるまちづくりを目指したものであります。そのためにはシルバー人材センター、人材派遣事業、職業紹介事業、障害者就労支援事業の4つの機能を有する組織の立ち上げが必要です。しかしながら、これら4つの機能を併せ持った組織の運営を行う上では、法律や制度的な課題が残されているため、人材活用センター実現へのステップとして、まずは久米島町の規模や実情に最適なシルバー人材センターの設立を目指したいと考えています。</p> <p>②法人設立前にまずはシルバー人材センターの設立を目指す考えですが、現時点では目処は立っておりません。関係課や関係する事業者、団体との連携を図り設立に向け取り組みます。</p>	企画財政課
5		外来生物の持ち込み対策について	<p>県内の他地域において外来生物の持ち込みによる生態系等への影響が問題となっている。久米島町の現状はどうなっているか伺う。</p>	教育長	<p>久米島に侵入している外来生物は、約11種類以上あると思われませんが、主な特定外来生物として、ウシガエル、ブルーギル、ボタンウキクサ等があり、一部は定着している種もあって生態系への影響がかなり有ります。定着した外来種を完全に駆除することは非常に難しく、大変な作業となりますので、外来生物をむやみに持ち込まない、野外に捨てない、ほかの地域に広げないの3原則をしっかりと守ることが大切です。今後新たに侵入する可能性の高い特定外来生物として、グリーンアノール、オオキンケイギク、ツルヒヨドリ等があり、そのためには、外来種に関する知識の普及啓蒙や早期発見のための町民を巻き込んだ監視体制の構築が必要だと考えます。</p>	博物館

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	2盛本 實	観光振興地域内の景観形成に対する考え方について	本町の字島尻、真我里、山城、比嘉、謝名堂、銭田、奥武、真謝、宇根は平成17年に「久米島イープリゾート地域」として観光振興地域の指定を受けておりますが、指定地域内において観光地としてふさわしくない景観が一部見受けられる。同地域は本町に訪れる観光客がもっとも集中する地域であることから観光地としての景観形成は観光客をもてなす上からも非常に重要な課題の一つでもあると思われる。よって、行政主導により適切な環境整備が出来ないか、町長の見解を伺います。	町長	指定地域内におけるご質問の場所は、民地となっておりますので、今後の整備においては、久米島町景観条例第4条及び5条の規定において「良好な景観の形成に関し、町民及び事業者の意見を反映する。」「良好な景観の形成に関し理解を深め、事業者及び町との協働による景観形成に努める。」としておりますので、計画を推進していく上では所有者の理解及び協力を得るための説明、意見交換を行って参ります。	商工観光課
7		民間活力を促進する目的で整備した施設の運営状況について	本町においては、農林水産業の活性化を目的として水産加工施設・かんしょ加工施設・山羊舎等々の整備を行ってきたが、同施設の運営状況はどの様になっているのか伺います。	町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産加工所の運営状況につきましては、初年度目標47,371千円に対し、49,160千円の実績で1,788千円の黒字となっております。</li> <li>・かんしょ加工施設の運営状況につきましては、平成29年度売上高で上半期計画40,340千円に対し、44,270千円の実績で9,7%の増となりましたが、損益計算書における純損失は4,794千円の赤字を計上しました。理由としましては、4月から9月までの原料不足が大きな要因となっております。</li> <li>・山羊舎の運営につきましては、経営が大変厳しい状況にありますが、生産農家及び山羊の頭数は増加しております。</li> </ul>	産業振興課
8		第2次久米島町総合計画の取り組みについて	第2次久米島町総合計画が平成28年度よりスタートしましたが、総合計画に沿った形で行政運営がなされているのか。また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性はとれているのか伺います。	町長	平成28年度より第2次総合計画がスタートし、まちづくりや行財政運営については、基本構想に掲げる44の施策達成に向け取り組んでいます。総合計画をより効果的に取り組むため、本年度行政組織内に「総合計画推進委員会」を設置し、組織内の連携や町民との協働による計画推進に努めており、平成30年度より基本構想と関連づけた予算編成に取り組めます。「まち・ひと・しごと総合戦略」については、総合計画との整合性を図り取り組んでいます。	企画財政課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	3平良 弘光	期日前投票所について	現在、仲里庁舎に限られている期日前投票所を具志川庁舎にも設置することができないか。 関連事項として 遠距離については直近の投票所で投票することはできないか。	町長	現在、期日前投票の名簿照合は紙媒体で行っていますが、期日前投票所を増設する場合は、各投票所を繋ぐオンラインシステムでの管理が必要になります。そのため、期日前投票所を増設する場合には、投票所となる施設へのシステム機器の設置、投票箱や投票用紙を厳重に保管するための大型金庫の設置のほか、期日前投票にかかる人件費など、大きな経費を生むことになるため、現状での期日前投票所の増設は難しいと考えています。 現在は、期日前投票所から遠い住民の皆様の利便性を考慮し、期日前投票に係る町営バスの無料化を実施しています。	総務課
10		自主防災組織について	本町において、島尻地区、比屋定地区に自主防災組織があり、軽消防車両が配備されていますが、管理上の観点から車庫を整備する必要があると思うが、その計画は。	町長	現在、消防本部から遠い島尻地区と比屋定地区に自主防災会を設置しています。それぞれの自主防災会には、小型動力ポンプを搭載した消防団車両を島尻地区は平成12年に、比屋定地区は平成14年に設置しています。 島尻地区の消防団車両の車庫は、島尻公民館の倉庫を利用していますが、比屋定地区の車庫は、宇江城ユイモール館敷地内に設置したコンテナを利用しています。 比屋定地区の車庫はもとより、それぞれの消防団車両についても老朽化が進んでいるため、車輛の更新も含めて、活用可能な補助メニューがないか検討しているところです。	総務課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	3平良 弘光	中体連の派遣について	今年度、本町の中学生が天候不良によって地区予選に参加することが出来ず県大会への派遣が出来なかった。 今後、島内記録会を参考にして派遣ができるよう行政側からも要請する必要があると思うが。	町長	今年度、那覇地区陸上競技大会に、本町の中学生は台風22号の影響による飛行機の欠航で、選手全員出場することが出来ませんでした。大会に向けて練習してきた生徒達にとってはとても残念な結果となりました。 地区代表の選考に関して那覇地区中体連会長へ相談をしたところ、県大会へ出場することが出来る条件としては、基本的に「地区大会当日の大会に参加したもので2位までの選手が地区代表となる」という規程があり、別の大会での記録を配慮し代表に出来るかについては、那覇地区中体連では判断が難しいとの回答でした。そこで、今後久米島地区中体連と、「久米島地区記録会での記録を参考に派遣が可能か」について協議してまいります。	教育課
12		集落外作業について	現在、比屋定集落が行なっている（県道から宇江城城跡への一部）を環境保全課の作業班で草刈り作業をすることができないか。	町長	・環境保全課作業班は、公園、林道、町道道、イベントの際のコースの草刈や公園のトイレ清掃、枯れ松撤去等を行っています。 町道については、主に活用する道路や観光道路等の除草を行っており、本道路については、途中から宇江城城跡まで約1,700mの除草をおこなっています。 近年、宇江城城跡への観光客等のレンタカー、タクシー等が頻繁に往来しているので指摘の箇所についても定期的な除草の必要性を感じております。作業班の業務量を確認しながら実施したいと思っております。	環境保全課
13	10玉城 安雄	職員の人事異動について	本町では毎年、4月に人事異動が発令されます。その中で、ある程度長期間の在職を求められる職種もありますが、逆に長期に在職させるべきでない職種もあります。また経験年数の長い職員がいることによって能率があがったり、経験年数の浅い職員や臨時職員で構成されていることによって能率の低下することも考えられます。そこで町長はどのような基準を持って人事異動にあたっているのか基本的な考えを伺う。	町長	基本的に、一般行政職の人事異動は、3年を目途に行っています。業務内容によっては、3年を超えて在職させる場合、3年以内に異動する場合など様々ですが、事務分掌の課内異動を進めるなど、移動の際に業務に支障が出ないように、人事配置を考慮しています。	総務課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14	10玉城 安雄	成年後見制度の充実について	認知症の高齢者や一人暮らし高齢者の増加に伴い、成年後見制度の必要性が高まっています。その需要は今後多くなっていくと思われる。また今後、その制度において後見人が高齢者の介護サービスの利用契約等を中心に業務を行うことが予想される。弁護士などの専門職がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の町民後見人が必要と思われるが必要性について伺う。	町長	本町の成年後見人制度の現状は、司法書士の方が、身寄りのない方や関わりが得られない方の成年後見を行っています。今後もそういった方々や町長申立て等で成年後見人の申立が必要となることが想定されることから、今後（次年度以降）町社会福祉協議会において法人後見人の選人等の資格要件を整え、法人後見による後見人としての支援を考えております。	福祉課
15		公営住宅の現状と今後について	非常に厳しい経済状況の中で、自宅を建てたりすることが困難な中、安価で賃貸できる公営住宅に対する期待は大きいものがある。まず1点目に公営住宅の現状について、総数戸数と実際に入居している戸数。入居希望しながら待機している方の人数、2点目として入居条件の基準、またそれを超過している入居者はいないか。3点目として老朽化している住宅についての現状と改修計画はどうなっているか、新設についても今後の見通しについて伺う。	町長	①現在、14棟の町営住宅があり、総戸数は44戸、内42戸が入居済みです。平成29年度の町営住宅入居応募者は12名おりましたが、内5名が入居済みで、待機者は7名おります。待機者の内2名と現在空き家になって2戸の入居調整を行っています。 ②町営住宅の入居資格は、同居しようとする親族がいること、世帯の収入が条例で定める金額を超えないこと、現に住宅に困窮していることなどが条件となります。世帯の収入が基準額を超える入居者は現在おりません。 ③老朽化等による施設や付帯設備の修繕は、その都度町の負担で行っています。全14棟の町営住宅の内11棟が築20年を超えており、長寿命化に向けての調査を平成30年度に実施する予定です。現在、人口が減少傾向にあるものの、生活困窮者は増加傾向にあるため、町営住宅の増設が望まれています。人口動態や民間アパートの空き状況などを総合的に調査した上で新設等について検討していく方針です。	総務課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
16	7 仲村 昌慧	久米島マラソンについて	<p>今年の久米島マラソンは台風で中止になり残念でしたが、島に来てくれて方々のために、ふれあいパーティーを開催して大変盛り上がった。久米島マラソンは過去に、4年連続で「全国ランニング100選」に選ばれたこともあり評価は高いと思うが、最近は参加人数が1300人台で推移している。受入れ可能人数は2000人まで可能と聞いているが、参加人数を増やす考えはないか伺う。</p> <p>次に、来年30回大会の節目の大会になるが、記念すべき大会をどのように盛り上げるか30回大会に向けての取り組みを伺う。</p>	町長	<p>久米島マラソンは、平成15年の大会リニューアル後から多くのランナーから好評を頂くようになり、毎年参加募集と同時に飛行機及び宿泊の予約が満杯となり、参加者が頭打ち状態となっていることが課題となっております。</p> <p>その対策として、ホテルの大部屋の活用や民泊等も取り入れてきましたが、現在もなお解消されてない状況にあります。</p> <p>平成30年度の記念大会は、注目度がさらに高くなることも予測されることから、大会企画については早期に取り組むことしております。</p> <p>さらに宿泊施設の拡充については、他の大会における事例を調査し、公共施設等の活用についても検討して参ります。</p>	商工観光課
17		クメノサクラ・ショウキズイセンについて	<p>クメノサクラについては球美の島緑化推進事業で、26年度に428本植えたが現在の本数はいくらか。年間の管理はどのように行われているか。</p> <p>ショウキズイセンについては、球根の増殖を5年計画で町の苗畑で増やしているとのことであるが、繁殖状況を伺う。</p>	町長	<p>クメノサクラは、今年の干魃により枯れたのが多数あり、261本が活着しております。現在は、桜に詳しい方に管理をしてもらっており、今年度、60本の補植を行います。</p> <p>ショウキズイセンにつきましては、平成24年度に苗畑に約28,000球を植え、平成27年12月に約3.8倍の約108,000球に増えました。</p> <p>飛行場線の松並木の開花が悪かったので増殖しましたところ今年はずごく開花をして町民や観光客の皆さんから大変喜ばれました。</p> <p>今年度は、空港前の中央分離帯に株分け移植や苗畑での増殖を行っているところです。</p>	環境保全課
18		具志川漁港について	<p>具志川漁港については、昨年の6月定例会の答弁では「県とは整備に向けて工法を検討している。」と述べている。その後の対応で「具志川漁港だけの単独では整備できないので、県から打診である。鳥島漁港の（具志川地区）で整備できないか検討し調整している。」とのことである。</p> <p>現在まで検討・調整した状況と復旧の可能性について伺う。</p>	町長	<p>県との協議の中では、前回同様鳥島漁港の具志川地区として再編することで進めています。そのためには、利用状況等の実績を上げる必要があります。現状のままでは、実績を上げられる状態ではないので船揚場を整備し対応したいと思っております。</p>	建設課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
19	6赤嶺 秀徳	航空運賃低減に向けたダブルトラックについて	<p>航空運賃の低減に向けたダブルトラックについて、平成27年12月、平成28年3月と6月そして今年の3月定例会に於いて質問しました。3月議会の町長の答弁では、ダブルトラックについて、平成28年3月、路線開設について訪問した航空会社に11月19日に再度訪問して路線開設について継続的に意見交換を行なっています。又、久米島路線の利用状況及び環境においては厳しい状況にあることから観光誘客を図りながら利用実績を高めていきたいと思えます。ダブルトラック化については一朝一夕には進まない課題であり引き続き誘致に向けて取り組むとの答弁でした。そこで、3点について伺う。</p> <p>(1) ダブルトラックに向けた作業の進捗状況について、</p> <p>(2) どの様に観光誘客を図り利用実績を高め、昨年同期日との実績の比率はいか程か。</p> <p>(3) 航空会社の担当者との意見交換は継続的に進めているか。以上伺います。</p>	町長	<p>(1) ダブルトラックについては、久米島空港の現状の利用者数、機材繰り、さらに地上支援業務等課題が山積しております。差し当たり、空港利用者数の拡大策として観光誘客に取り組んでいるところです。特に、久米島観光の弱点となる認知度の向上を図る為、積極的にプロモーションを行っております。</p> <p>(2) 平成28年度の観光客数については111,509人(前年度比8ポイント増)、空港乗降客数が258,147人(前年度比10ポイント増)となっていることから、実績は増加に転じてきておりますが、尚もダブルトラックを誘致できる状況には程遠く、引き続き観光誘客に取り組む必要があると考えております。</p> <p>(3) こうような状況から、航空会社に対し新たにプレゼンできるような環境は整っておらず、会社訪問は前回以降行っておりませんが、沖縄県とは今後の取組み、行動計画について継続的な意見交換を行っているところであります。</p>	商工観光課
20		儀間漁港の拡張と施設の充実について	<p>現在の儀間漁港は、漁船の大型化に伴い係留場所がない状態で超過密になっている。又作業施設もないことからエンジンの修理、船体の修理等にも支障がある。4点について伺う。</p> <p>(1) 漁港を拡張する計画はないか。</p> <p>(2) 作業施設の設置計画はないか。</p> <p>(3) 風防壁の設置計画はないか。</p> <p>(4) 浮棧橋の設置計画はないか。</p> <p>以上伺います。</p>	町長	<p>儀間漁港の拡張と施設の充実について(1)漁港を拡張する計画はないかについて、漁村再整備交付金整備事業で整備を考えています。対象としては1,計画事業費が1事業1億円以上12億未満となっています。(2)、(3)、(4)の計画については、地域水産物供給基盤整備事業メニューで係留施設整備の中に防暑施設(補助事業では作業施設は設置できない:防暑施設という)、暴風設備、浮き棧橋の整備が可能であります。現在、儀間漁港では実施されている機能保全事業が平成31年度で完了するため、新たな漁港整備事業計画が必要だと考えています。(1)から(4)の施設については、整備可能な補助事業の制度の内容等を県と調整しながら採択に向け進めていきたい。また、地元の要望調査をおこない内容を計画に反映させる形で是非推進していきたい。</p>	建設課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
21	6赤嶺 秀徳	町営バスの稼働状況について	町営バスが運行されているところではありますが、バスの稼働状況について3点程伺います。 (1) どの様なシステムで運行しているか。 (2) 乗務員の健康管理チェックは充分に実施されているか。 (3) ロゴ入りバスが運行しているが、広告料収入はあるか。 以上伺う。	町長	(1) 町営バスは車両5台を保有し、運転手6名、うち運行管理者1名、整備管理者1名を配置しております。路線は、空港線、一周線右回り、一周線左回り、島尻線、嘉儀山線の5路線を運行しております。 (2) 乗務員の健康管理チェックについては、運行管理者により、毎朝運行前に点呼による乗務員の疲労・健康状況等の確認を行い運行しております。 (3) バス車体にありますイラスト及びキャッチコピーは企業等の広告ではなく、イラストは宮崎駿監督が「久米島の自然と島の未来を切り開くイメージ」で描いたものですが、現在整備中の「風の帰る森プロジェクト」との連携を図り、久米島観光の新たなイメージづくりとして、バスのデザインに採用していますので広告収入は入っておりません。	商工観光課
22		小・中学校への冷房設備の設置について	9月定例会で吉永議員から小中学校の暑さ対策についての質問がありました。それに対して普通教室への冷房の施設について前向きに検討するとの答弁がありました。冷房設備については、私の地元の小学校職員からも強い要望がありました。子供達が授業に全く集中できていないとの報告もあり、子ども達の健康面あるいは学力向上の面からも早急な対策が必要であると考えます。そこで伺います。 (1) 前向きに検討するとの答弁でしたが、それについて、何らかのアクションを起こしたか。 (2) 前向きに検討する答弁については、設置する旨、理解してよいか。	教育長	一つ目の何らかのアクションを起こしたかにつきましては、まず、クーラー設置工事を対象とした補助事業の有無を、9月に県教育庁施設課に問い合わせを行っております。その結果、学校施設環境改善交付金の中で空調設置工事を対象とする事業があり、補助事業の計算式で算出したところ事業対象の見込みとなり、実際の工事費の積算と業者への見積もりを済ませ、来年1月のヒアリングに向けて準備を進めております。 二つ目の、設置する旨、理解して良いかと言うご質問につきましては、来年1月のヒアリング終了後、設置に向けての事業申請を行う予定です。	教育課
23		町有地(原野)等の売却について	集落内外を問わず、町有地(原野)の売却について、町の考えを伺いたい。	町長	町有地の売却や貸地については、関係法令上の制限等の有無及び周辺住民や隣接地主の同意の有無などを確認の上、その都度公有財産管理運用委員会で審議して決定しています。登記上の地目が「原野」となっている町有地については、現況が宅地や畑として使用されている場合や、宅地や畑と隣接しているなど、宅地や畑に変更しても支障が無いと判断した場合のみ、払下げや貸地を行っています。	総務課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
24	6赤嶺 秀徳	各区長等からの要望や陳情について	各区長等あるいは、町民等からの要望や陳情等に対して、どの様に対処しているか伺う。	町長	区長、あるいは町民からの各種要望について、正式な要請書や陳情書で寄せられる場合は総務課を通して各担当課で、直接口頭等での要望は各担当課で対処しています。特に多いのが道路等の修繕に関する要望ですが、建設課では諸問題受付票を作成し、町長まで回覧した上で進捗状況を管理しています。	総務課
25	4崎村 正明	ひきこもり対策について	厚生労働省の定義では社会参加を回避し6ヶ月以上自宅にとどまり続けている人のことをひきこもりと言うようだが、仕事や学校に行かず家族以外とほとんど交流しない。ひきこもりについて本町は実態把握できているのか伺いたい。	町長	現状では、実態の把握は出来ていません。引きこもりの事案としては、地域包括支援センターの保健師、精神保健福祉士に家族から相談を受け、かかわったケースが11件あります。  小中学生で、学校に行かず家族以外とほとんど交流しない児童生徒は、中学生に男子1名いるとの報告がございます。	福祉課
26		歩道の整備について	県道83号線久米島空港真泊線嘉手苅地内において、当初から歩道がない箇所が約30m以上あり、今現在サトウキビが植えられている為見通しが悪く歩行者の安全対策としても歩道を整備する考えはないか伺いたい。	町長	県道83号線久米島空港真泊線嘉手苅地内の歩道未整備箇所が約40mあります。県と調整した結果、地主の同意を添えて申請したら、整備の方向で調整したい旨回答を得られたので、地主と協議したいと思います。	建設課
27		バス停の整備について	久米島高校前のバス停は、仲里側にはあるが具志川側に無い為に交通量の多い時間帯に片側車線となり車道にて乗降している状況であり事故未然防止策としてバス停を整備する考えはないか伺う。	町長	バス停下屋の設置については、これまでに他の個所についても要望をいただいておりますが、上屋設置に対応可能な事業メニューを調べている状況にあります。 久米島高校前については、過去の設置事例を参考に沖縄県での整備について確認しているところであります。	商工観光課
28		事故対策について	儀間の沖縄電力（久米島営業所）とクボタの久米島営業所間の交差点で事故が多い為に事故未然防止策が必要だと思ふか伺いたい。	町長	ご質問の交差点には、注意喚起の標識が設置されています。今後の事故防止については、関係機関と調整の上、検討していきます。	総務課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
29	8喜久里 猛	久米島の未来について	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高速船導入は実現するか。</li> <li>②クルーズ船用バースは出来るか。</li> <li>③深層水給水管の増設は</li> <li>④兼城ターミナルは何年着工か。</li> </ul>	町長	<p>①高速船導入に関しては平成28年度に町民等を対象にしたニーズ調査を実施しており、回答者の約9割が高速船導入は必要と答えていることから、町としても是非、実現したいと考えております。しかし、現在、県の高速船建造等の支援制度がないことから、制度創設を国・県などの関係機関と連携しながら働きかけてまいります。</p> <p>②クルーズ船用バースは出来るかについて、県港湾課に確認したところ、クルーズ船が直接接岸できる整備計画はないことからできません。にっぽん丸もテンダーボートを利用して仲里漁港から上陸しています。</p> <p>③海洋深層水取水管の増設につきましては、平成26年7月に「国際海洋資源・エネルギー利活用推進コンソーシアム」が産官学金連携のもと協議会が発足され、取水管増量にむけた様々な取組みを行ってまいりました。平成29年6月には、内閣府沖縄総合事務局において「離島地域における海洋深層水を活用した地域活性化可能性調査」も実施され報告書が9月に完成しております。その報告書の中でも久米島における海洋深層水を活用した複合利用の可能性について、中長期的に需要が見込まれるとの報告もあることから国の機関においても海洋深層水の増量にむけた取組みが一步前進したと思っております。ただ、今後の動向においては、引き続き国・県の関係機関に強く働きかけてまいります。</p> <p>④兼城港ターミナルは何年着工か。このことについても、県港湾課に確認したところ、兼城港ターミナルビルについては、今年度、実施設計に用いる面積等の基本的な情報をとりまとめる基本設計を進めています。基本設計がとりまとまり次第、実施設計を行い、平成30年度には工事着工する予定であると回答ありました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①③プロジェクト推進課</li> <li>②④建設課</li> </ul>

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
30	8喜久里 猛	兼城久保田農道線について	久保田農道のメニューは現在もないか。	町長	久保田農道のメニューは現在もないかについて、県農林水産部における平成29年度第4回新規地区選定会議委員会報告では、平成30年度農業農村整備事業等新規採択要望地区一覧表の事業メニューの中には、農道単独での整備事業メニューはなく、エントリーしている市町村もありませんでした。農道を単独で整備出来る事業はないか農地農村整備課に問い合わせたところ、「農地耕作条件改善事業」であれば可能であると回答頂いています。詳細としては、農業振興地域の整備に関する法律に規定する農用地区域のうち、農地中間管理事業の推進に関する法律に規定する農地中間管理事業を重点的に実施する区域内であれば整備出来ます。」久米島町は、重点実施地域に指定されているので採択要件を満たす農地等があれば可能であります。	建設課
31		ハーベスター・ビレットプランターの導入について	ハーベスターは自家用の時代になって来たが、来年度は何台導入の予定か。 又ビレットプランターの事業導入は可能か。	町長	ハーベスター導入希望の農業生産法人は10団体です。ビレットプランターの導入も可能となっております。	産業振興課
32	9棚原 哲也	海洋深層水の施設について	町では深層水の揚水施設の増設及び再生可能エネルギーとしての温度差発電施設の設置を国に要請中だと思うがその認可の可能性はあるのか？進捗状況を伺いたい。	町長	内閣府沖縄総合事務局において、「離島地域における海洋深層水を活用した地域活性化可能性調査」が実施され、久米島における海洋深層水を活用した複合利用の可能性については、中長期的に需要が見込まれるとの調査結果がでており、取水管増設事業の進展が図られれば、海洋温度差発電設備の整備も十分に可能かと考えております。 可能性調査が実施されたことにより一歩前進しておりますが、取水管増設と海洋温度差発電設備の整備については、事業主体のことも含め引き続き、国・県の関係機関へ強く働きかけてまいります。	プロジェクト推進課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
33	9 棚原 哲也	災害発生時に利用される資機材が収納されている倉庫の設置場所について	町内の数カ所の設置場所については海拔の低い場所に設置されており災害発生時に収納資機材が使用不可能になる恐れがある。海拔の高い場所への防災倉庫の移転が必要だと思いが所管課の考えを伺いたい。	町長	津波が発生した場合、海拔の低い地域に設置した防災資器材は使用できない可能性があります。災害は津波だけとは限りません。大地震など、他の災害が発生した場合に備え、地域住民が利用しやすい場所を選定した上で、全小学校区に防災資器材倉庫を設置しています。 防災資器材倉庫は、地域住民が使いやすく、管理しやすい場所であることが条件となるため、校区住民が要望するのであれば移転も可能だと思います。	総務課
34	11 安村 達明	謝名堂川と（2号線）の整備について	謝名堂川の整備は、南部土木事務所河川港湾班、町・仲里土地改良区と協議を実施しているが、水門の問題があると同僚議員への答弁だった。 謝名堂川は、雑草の繁茂等により水の流れが悪くなり、大雨の時は、水位が上がり、周辺の道路に汚泥や鹿がたまり、衛生面からも大変問題である。早急に河川の浚いが必要だと思いが町の対応を伺う。 謝名堂2号線は、スクールゾーン地域である。久米島安全対策集落外防犯灯設置事業では、謝名堂2号線は設置可能かを伺う。	町長	謝名堂川について、県南部土木事務所とは9月の台風18号時の謝名堂川が氾濫している状況を動画等で現場状況を確認させています。11月9日イーブ情報プラザでの説明会でも同様の質問があり、浚渫する旨回答しています。謝名堂川の浚渫や県道舗装及び歩道工事を含めた久米島管内道路改修外工事を11月27日に島内業者だけで指名競争入札を実施していますが、入札不調で終わっています。  防犯灯設置については、現在内閣府沖縄総合事務局による沖縄県安全対策事業により久米島町内の集落外の通学路を中心に整備を進めていますが、謝名堂2号線も整備区域に含まれており、今年度中に完了する予定です。	建設課 総務課
35		すぐ対応する「室」を	役所仕事は、デスクワークが中心になるのは、一部仕方ないがそれだけでは、住民のニーズに応えられない。座って楽な仕事に慣れたら、動きたくないのも人情だが、それでは、肝心の公務員の本分は務まらない。 我町でも「すぐやる室」を設置したらどうか。最近、我町でも島をゆるがす程の横領事件があり、町民から大変きびしい目で見られ（町の管理体制）身のせまい思いだと理解しているが、住民、障害者の要請や要望があればすぐ対応する心遣いの出来る「室」を設置してはどうか町の見解を伺う。	町長	現在、町民からの要望や苦情については、各担当課が対応しております。予算が伴うものや、他部署や他組織と調整が必要なものは、対応に時間を要する場合がありますが、実施可能な案件についてはすぐに対応するようにしております。 「すぐやる室」については、組織改編や機構改革の中で設置の必要性について検討していきたいと思っております。	総務課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
36	11安村 達明	小、中学生熱中症問題について	<p>今年の9月22日の新聞で4月～8月までの間に、糸満周辺市町村で述べ、140人の児童が熱中症の疑いで保健室を利用した。と、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久米島の状況はどうだったか（H28年～H29年）伺う。</li> <li>・学校の教室には、温度計、湿度計はあるのか。</li> <li>・小、中学校で何人の児童生徒が熱中症の疑いで保健室を利用したか。</li> <li>・小、中学校で、学年ごとにクーラー設置をしたら、何教室になるか。学年ごとにその個数を、</li> </ul>	教育長	<p>まず一つ目の、「小中学校の教室に温度計、湿度計はあるのか」についてですが、温度計に関しては、久米島小学校、清水小学校、久米島西中学校は全クラスに、また美崎小学校と大岳小学校には一部のクラスに設置されております。その他の学校の普通教室には、温度計は設置されておられません。湿度計につきましては、清水小学校は全クラス、久米島小学校と大岳小学校には一部のクラスに設置されております。</p> <p>次に、二つ目の「何人の児童生徒が熱中症の疑いで保健室を利用したか」についてですが、平成28年度に熱中症の疑いで保健室を利用した小学校の児童は6校合わせて49名、中学校の生徒は2校合わせて15名となっております。平成29年度については、11月1日現在、小学校の児童は6校合わせて79名、中学校の生徒は2校合わせて29名となっております。</p> <p>三つ目の「学年ごとにクーラー設置をしたら、何教室になるか。」につきましては、現在の教室数でカウントした場合、小学校は、1学年、2学年、3学年、6学年についてはそれぞれ6教室、4学年が5教室、5学年が4教室、そして特別支援教室が7教室となり、全体で40教室となります。また中学校は、1学年は3教室、2学年と3学年がそれぞれ2教室、特別支援学級が2教室となり、全体で9教室となります。</p>	教育課

平成29年12月定例会一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
37	11安村 達明	道路整備について	<p>クシ原（農道真謝45号）については、平成29年度農業基盤整備促進事業で選択されたとのことですが、割当内示額によって工事着手次期が変わるとの事ですが、説明を。</p> <p>マンドウ原は採択できなかったとの事だが最近のマンドウ原の状況は惨憺たる状態で、軽トラでさえ通行不能だ。近いうちに砂糖きび収穫の時期にもなるが、町の対応は、又、石材会社の表示もあるが、確認と内容を伺う。</p>	町長	<p>真謝45号農道整備について、沖縄振興公共投資交付金事業で平成29年度新規事業で採択されました。採択された事業工期では平成29年度から平成31年度の3カ年間となっています。当地区は平成30年度に実施予定されています。工事着手時期の変動については、今年度同様国から交付金が削減されれば市町村への割当内示も減額されることになり、市町村の要望が100%補えないこととなります。例として、今年度要望額は4千万でしたが、県からの内示が1千万円でした。新年度の内示額によっては、事業工期の延長も考えられます。</p> <p>マンドウ原の場合、農道整備事業の採択要件が満たされていません。地主の同意率90%から100%及び経済効果が算出される必要条件が非常に厳しく、農道整備での当該路線の採択は厳しい状況にあります。しかし、現場を確認したところ、凹凸が激しく車の通行が厳しい状態であるので、企画財政課と調整し対応を考えたいと思います。又、石材会社の看板表示が入り口付近にありましたが、現場を確認したところ採掘や採取の跡が見当たらないことや、島内所々に表示があるので、宣伝用で設置してるだけだと思われます。</p>	建設課